

プール熱

(咽頭結膜熱)に注意!!

咽頭結膜熱は、比較的夏に流行する学童に多い夏かぜの一種です。プールを通して感染して流行することがあり、プール熱とも呼ばれます。



原因

原因はアデノウイルス1、5、7、11型などの感染です。このウイルスは40種類以上おり、体の各臓器、呼吸器、泌尿器、消化器、脳神経、眼、皮膚、リンパ節などに親和性(互いに結びつく性質)を持っており、いろいろな症状を起こします。感染後潜伏期と呼ばれる無症状の期間(約4〜6日)を経て発症します。

症状

主な症状は、発熱、咽頭炎、結膜炎です。

◎発熱

ほぼ全例に認め38〜40℃の発熱が4〜5日持続します。

◎咽頭炎

のどの奥の炎症です。症状は、のどの痛みや、嚥下痛(ものを飲みこむ時の痛み)です。のどの奥が赤くなったり、扁桃が腫れたりします。これに伴い、頸部(くびの部分)のリンパ節が腫れたりします。

◎結膜炎

一側性(片眼)または両側性(両眼)の結膜炎を併発します。眼が赤くなったり、赤目のところにぶつぶつができます。

たり、眼が腫れたりします。痛みを伴うこともあります。そのほか、発熱に伴い頭痛、吐き気、下痢なども起こします。



経過

症状の経過としては、約5〜10日はかかります。同じ様な眼の赤くなる病気に流行性角結膜炎(はやり目)がありますので、眼が赤くなるかぜをひいたら念のため眼科の先生に見ていただくことも大切です。

治療

治療としては、現在このウイルスに有効な薬はありません。従ってそれぞれの症状について治療を行います。できるだけ安静にして

予防

体力を落とさないようにします。症状が強いときは、解熱剤や、混合感染(2種以上の病原体に同時に感染すること)防止のため抗生剤を使用することもあります。学校保健法で出校停止となりますが、すべての症状が消えて2日間経ったら集団生活に戻ることができます。

流行時には、①流水と石けんによる「手洗い」「うがい」をする②感染者との密接な接触をさける(タオルなどは別に使う)③プール(水泳)の後、シャワーを浴び、目をしっかりと洗い、うがいを

